



上田 よしお 市政報告



発行者:上田よしお後援会・上田よしお市政相談所 住所:茨木市玉瀬町7番9号 TEL/FAX:072-635-4978 E-mail:u_yoshio2005@yahoo.co.jp

年頭挨拶

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。市民の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は市議会議員上田よしおにご支援を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年は、未曾有の大災害、東日本大震災に見舞われました。被害に遭われた皆様方のご冥福をお祈りいたします。この災害により、今一度、助け合いの精神、絆を育んでいくことの大切さを新たに胸に刻み込みました。私は会派の幹事長として新たに無所属議員を加え、会派名を自由民主党・絆と改め心機一転活動を行ってまいります。

さて、本年は昨年の大災害の復興に向け、国民全員で取り組まなければならない年であることを認識しながら前に進めていかなければなりません。茨木市は幸いにして昨年、立命館大学の進出・JR新駅の建設・東芝スマートコミュニティプロジェクトなど多くの事業が進みだし、茨木市にとって大変喜ばしい事と歓迎し、近未来の茨木が活気あふれる街になるように進めてまいります。また、安全・安心の観点から安威川ダム・新名神高速道路の建設については早期の完成を目指して取り組んでまいります。このような事業を行うことにより、経済の落ち込みの歯止めとなり、景気の回復に繋がり、雇用対策や生活保護世帯の減少等に効果が出る事を期待しています。

今年市長選挙が4月に行われます。風流されずに軸のブレない市政運営を行い、多くの市政課題に正面から取り組んでまいります。今後も皆様方からのご意見や要望を聞かせていただき、市政の発展に尽力してまいります。皆様の一層のご指導ご鞭撻をお願い致します。

平成24年1月

茨木市議会議員

上田 よしお(嘉夫)

追伸 この新聞は市政報告新聞のため、後援会会長西田政弘様のご挨拶文は控えさせて頂きましたのでご了承下さい。

市政報告会

第23回は9月24日(土)・第24回は12月24日(土) いづれも午後2時から水尾コミュニティセンターで行いました。毎回、本会議終了後に行なっている市政報告会です。毎回議会で行われた内容の報告を行いその後、質疑や市民の皆様から頂いた貴重な意見や要望を市政に反映できるよう努力をさせていただいております。頂きましたご意見や要望につきましてはその後調査し、個人のご意見に対しては個人に、また共有する皆様のご意見は次回の報告会で報告させていただきますいております。ご遠慮なくご参加いただき普段思っていることをお聞かせ下さいますようよろしくお願い致します。



第23回市政報告会



第24回市政報告会

生活保護に対する適正な運営について

2011年7月の時点で、全国で生活保護を受給している人が、初めて205万人を上回り、60年ぶりに過去最多を更新したことが厚生労働省の調査でわかった。厚労省によると、2011年7月の時点で、生活保護を受けた人は、6月から8,903人増えて、205万0,495人となり、戦後まもない1951年度の204万6,646人を上回り、60年ぶりに過去最多を更新した。生活保護を受給している人の4割以上を占める65歳以上の高齢者の増加や、2008年のリーマンショックを契機とした、失業者の増加が背景にあるとみられている。また、東日本大震災で被災して生活が苦しくなったことから、新たに生活保護を受けることが決まった世帯も、被災地を中心に増えているという。(時事通信・11月9日)

同様に茨木市でも下表のように増え続けている。政府は景気対策を東日本大災害復興と共に重要な対策として景気対策に取り組んでもらいたいことを訴える。

参考に茨木市の年間生活保護者と保護費

年度	保護者(人数)	保護費(千円)
平成20年度	2,575	4,877,215
平成22年度	2,762	5,440,287
平成23年度	3,231	6,333,873

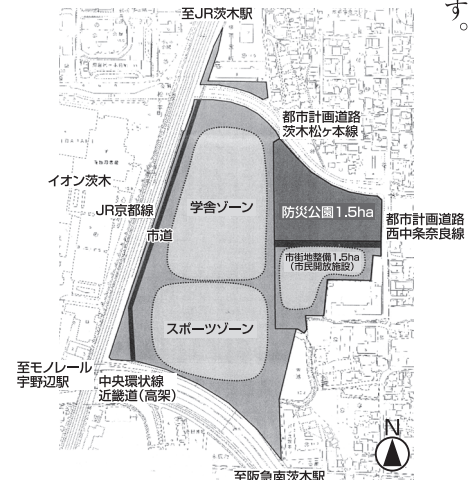
立命館大学の協定内容について

茨木市はかつてからサッポロビール大阪工場跡地に立命館大学の新キャンパスとして、昨年11月に、学校法人立命館は同用地の取得と新キャンパス開設することを理事会で決定し、その協定を12月20日に茨木市と立命館大学とで取り交わした。

新キャンパス予定地の面積は約12万平方メートルで、2015年4月の開設を目指しており、経営学部と経営学研究科がびわこ・草津キャンパスから、政策科学部と政策科学研究科が衣笠キャンパスから移転することになっている。他の学部も検討している。

いる。最終の学生数は10,000人とし現段階は6,000人としている。市との協定は敷地内における施設の一部開放や防災公園の設置により、大学と市民の共有施設として今後開発を進め平成27年4月開校を目指す。

立命館大学予定平面図



保育所民営化の効果

茨木市は平成19年度から22年度に公立保育園8園を民間保育所にしてきました。この事業は民間委託することにより、夫婦共働き世帯の増加や就労の多様化によって、保育所の利用率が増加しているとともに、民間の優れた保育を生かし、より効率的な民営化の考えに基づき、保育ニーズへの柔軟な対応を期待し、より効果的に運営を求め民営化をしてきました。その結果保護者や、経営者からの要望は多くあると思えますが、市の財政状況では年間1保育所当たり平均約8,800万円の費用が軽減されました。

これらの余剰金は、さまざまな保育に欠ける分野に支援しています。在宅子育て家庭支援保育士を設置し子育てについての悩みや不安を解消する支援や、こんには赤ちゃん事業等を開き子育て支援に茨木市は取り組んでいます。それでもまだまだ足りない待機児童の解消に向けて取り組まなければならないと思っております。



民営化した保育所

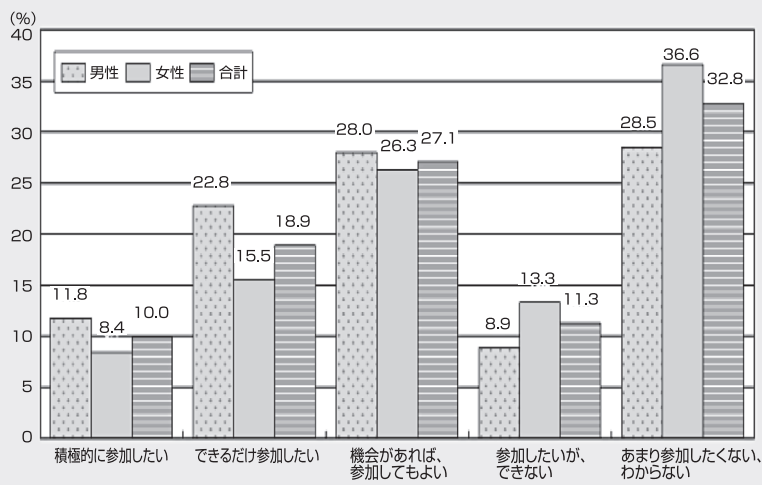
高齢者社会への取り組みについて

ますます進む高齢化社会での地域ボランティア活動への参加意識調査(別表1)によると、男性が女性よりも高くなっている。高齢期にいたる前は女性と比較して仕事中心の人が多いが、仕事を引退していきなり地域での活動に参加することは難しいと考えられる。高齢期の世代だけではなく、それより若い世代に対しても併せて地域活動や趣味の倶楽部への参加をしている人は、定年退職以降も地域活動に参加する人が多いとされています。

高齢化が進む日本社会において、高齢者の孤立化を防止して安心・安全を確保するだけでなく、高齢者自身に地域の支え手として、「地域の絆」を再生してもらおうことが大きく期待されている。ただし、「地域の絆」の再生は高齢者だけで行えるものではなく、世代を超えて市民全体で行っていく必要があると考えます。今後ますます行政は市民と協働で地域力を期待してきます。

日本の人口は平成67(2055)年に総人口が9,000万人を切り、5人に2人が65歳以上になると予測されている。若男女を問わず元気な人が活躍し、支え合う社会を築いていく必要があるとされています。積極的に地域行事やボランティア活動にお誘い合いながら参加していただきたいものです。

(表1)地域活動・ボランティア活動への参加意向



資料:内閣府「高齢者の地域におけるライフスタイルに関する調査」(平成21年)
(注)調査対象は、全国60歳以上の男女

12月議会での発言内容

①安全な生活道路の整備について

〔問い〕生活道路に痛みがあれば、市は即時に補修しているが、補修を重ねるうちにかまぼこ型になっていく道路がある。高齢者や幼児等に安全な整備をお願いしたい。またU型側溝からL型側溝への移行も効果あるものと考えるが問う

〔答弁〕道路のかまぼこ型を解消するには舗装の打ち換え時に適正な横断勾配になるよう急な勾配個所の解消に努めている。また、U型側溝からL型側溝への移行については道路の有効幅員の確保や容易に清掃できるといったメリットがあるが一方豪雨時には浸水してしまうなどのデメリットもある。各地区に適応した選択を講じていきたい。

②阪急茨木市駅周辺の整備計画について

〔問い〕阪急茨木市駅周辺の再整備計画について、現状と今後の方針について

〔答弁〕茨木市においては、立命館大学の進出やJR新駅の設置など、市全体に関わる計画が進行している。これらの計画による都市づくりへの効果や影響を見極めながら、駅周辺は中心的な機能を果たすものであり長期的な視点で検討していく。

〔要望〕駐車・駐輪場の土地を今後の再整備の拠点として、有効利用を考慮して駅前周辺や旧市街地、商店街の活性化に繋がる整備の目標期間を定めて計画を立てるよう要望する。

③豪雨対策について

〔問い〕近年の集中豪雨は想定外の災害を発生している。そこで安威川ダムは都市近郊ダムとして最も重要なダムと位置づけられている。ダム本体の着工から完成を早期に望むがその時期はいつになるのか問う

〔答弁〕大阪府はダムの現計画が妥当と判断し国にその要望を出している。後は国の判断待ちとしながらも、一刻も早くダム着工に着手するよう強く要望していく。

茨木者の戦国史

昨年大河ドラマ「江(ごう)」で姫たちの戦国の中で茨木に関わった三人を紹介しよう。三人の天下人は織田信長・豊臣秀吉・徳川家康である。

この三人の天下人に関わりをもった茨木在住の三人武将を紹介すると、無骨者中川清秀は茨木出身で本能寺の変をいち早く秀吉に知らせる。賤ヶ岳で名譽の戦死。割げ者古田佐助(織部)織田信長の家来で中川清秀の妹と結婚、利休の自刃後秀吉の命令で茶頭となり大名茶を広め將軍秀忠の茶指南をする。が度々登場したと思う。実直者片桐且元は秀吉の部下で豊臣家を潰せない!淀君のヒステリーと家康の計略の板挟み、大阪城内で殺されそうになり茨木城に脱出、最後の茨木城主。

(茨木市観光協会いばらきのおとより抜粋)

自由民主党・絆会派報告

昨年12月1日付けをもって市議会議員で構成する会派名を、自由民主党・市民会議から自由民主党・絆に変えました。昨年の大災害・東日本震災の復興は、私たち議員も一人一人が助け合う精神を持って、絆を育み復興にむけ尽力しなければならぬ思いから絆の名前にしました。奇しくも昨年、清水寺のその年の一文字が絆に選ばれたことは私たちの思いと一致したこと心新たにしています。初心を忘れず長い年月を費やすであろう復興に、今一度心の絆を大切に6名の議員集団一丸となって頑張っていきたいと思います。其のためには、茨木市民が安心してずっと住み続けたい街づくりに皆様に喜んでいただけるよう活動をしてまいります。

自転車のルールを守り事故のない街に

自転車に関連する交通事故は全事故の約2割を占めています。また、自転車は「車のなかま」なので、原則として車道を走らなければなりません。しかし、無秩序に歩道を走行したり、一時停止の標識を無視するなど、ルールを守らない危険

な走行が目立っています。自転車に乗るときは、ルールを守り、安全な運転を心がけましょう。また、車の運転者や歩行者も自転車のルールを知って、お互いを思いやり安全な心がけましょう。

1 自転車は、車道が原則、歩道は例外

2 車道は左側を通行

3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

4 安全ルールを守る

① 飲酒運転(二人乗り・並進の禁止)

② 夜間はライトを点灯

③ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

5 子どもはヘルメットを着用

ルールには以上の事が基本の決まりです。今一度ご確認いただき事故の起きない安全走行をしたいものです。

子どもやお年寄りに気を付けましょう。二人乗りはダメ。携帯電話もダメ。他にたくさんマナーやルールがあります自然に身につけられるルールばかりです。トラブルや事故を起こさないようにしてください。



今後の活動予定

市政報告会

第25回
平成24年3月24日(土)

第26回
平成24年6月30日(土)

何れも水尾コミュニティーセンターで午後2時~予定しています。皆様のご参加をお待ちいたしております。